

YOUTH MANNA

Grace
Community
2024
Be

Acts 2:42



彼らはいつも、使徒たちの教えを守り、交わりを持ち、パンを裂き、祈りをしていた。
使徒の働き 2章42節

2024/11/11(月)

イザヤ41章

○苦難の中での主の約束は何だろう。(10節、14節、17-18節)
○一方で、神様を試す人の言動とはどのようなものだろうか。(21-23節)
→私達にも、「これを聞かないと(これが分からないと)信じません」といった態度はないかな? 12弟子の1人・トマスは、周りの弟子達から「イエスを見た」という証言を聞いたが受け入れられなかった。だが、その8日後、トマスの前に主が現れてくださった。しかも、イエスはトマスが願う方法で、彼にとって分かりやすい形で現れてくださった(ヨハネ20:24-29)。
★みんなも、「信じない者ではなく、信じる者に」なれるよう祈ろう。

2024/11/12(火)

イザヤ42章

●1-9節には、やがて来られるイエス様のことが預言されているよ。この箇所から、イエス様がどのようなお方だと知ることができるだろうか?
●信じているけれど、自分の生活がみことばと無関係のものようになってしまうことはないだろうか。この預言は、神の民でありながら「主の道に歩もうとせず、そのおしえに聞き従わなかった」人たちに対して語られたよ。彼らは神様のことばよりも自分の考えや願いを上置いていたんだ。今日自分が何を第一とするべきか考えよう! そして、今日語られているイエス様と一緒に生きるなら、自分の歩みがどうなるかイメージしてみよう!

2024/11/13(水)

イザヤ43:1-13

●イスラエルは神様に聞き従わず敵対していた。そのような者に神様は何と呼びかけているだろうか。1-7節をもう一度味わおう。
●神様はイスラエルが立派で良い行いをしているから救われるのではなかった。それは私たちにとっても同じだね。この神様の愛に満ちた呼びかけは、今、君にも語られていることばだよ。今日の箇所は、君の心にどんな感動を与えるだろうか。
●10-13節から、神様を証して生きることについて考えてみよう。聖霊が与えてくださる力によって、イエス様の証人として歩めるように祈ろう!

2024/11/14(木)

イザヤ43:14-28

●25節で神様は何をめぐいさっているかな?
●この箇所は神様の救いと助けを決意してり箇所なんだ。3、4節は神様は私たちを救いだすためになにを投げ捨てても構わないという思いの具体例だよ。神様の厳しさより、19節からの大きな祝福をもたらせてくださるお方なんだ。22節から人間の背きが書かれているけれど神様は、25節のように赦してくださるんだ。神様が罰ではなく救いや助けをくださることに感謝しよう。

2024/11/15(金)

イザヤ44章

●21vで神様はヤコブ(=イスラエル)に語っていることは何か?
●イスラエルは偶像に従っていた。それは自分が良いと思うことに従って行動してたってこと。それに対して22v何をするように語られているかな?
●神様はイスラエルに語りながら、きみにも語っている。まず、自分が本当に愛されていることを受け取ろう。そして次に今すべきことを考えよう。

2024/11/16(土)

イザヤ45:1-8

今日の箇所では、この世界とそれを造られた神様との関係が告げられている。全てを造られた神様がその全てを用いて救いのわざを成し遂げることが書かれているね。
私たちはつい自分の周りのことばかりを見て考えてしまうけど、その日常で一緒にいてくださる神様は世界規模のスケールをもったお方なんだ。旧約聖書の時代でもそうだったように、今も私たちの思いをこえた形で、この地の計画を神様は進められる。
その計画のために、神様は何を用いて働かれるか、聖書や身近なところを思い巡らしてみよう!

2024/11/17(日)

イザヤ45:9-25

聖書は、神様がこの世と私たちの造り主であるからこそ私たちの主であると教えます。神様の力や性質だけでなく、創造主であることが私たちとの関係の基盤です。神様の支配はイスラエルのみならず、すべての国々に及びます。諸国の民もまた神様を認め、礼拝するようになると預言者は語ります。このため、偶像に頼ることは無意味であり、真の救いは創造主である神様からしか得られないと強調されています。イスラエルの民はしばしば偶像に走りましたが、神様は真の救い主として立ち返るよう訴え続けています。考えよう:なぜ、真に救ってくださる神様ではなく、無益なものに頼ろうとするのでしょうか?